

平成 26 年度 明石市地域自立支援協議会

くらし部会 リポート Vol. 1 平成 26 年 9 月

発行元：明石市地域自立支援協議会 くらし部会事務局
 (基幹相談支援センター) TEL：078-918-5252

【意見投稿用アドレス】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています。



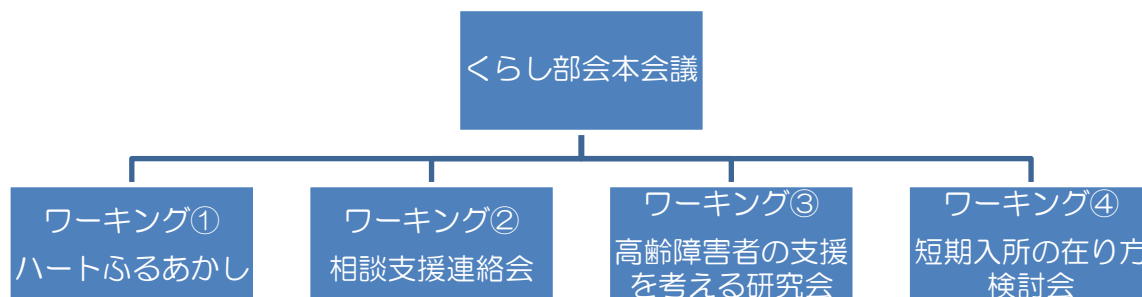
くらし部会は、障害者の「くらし」に関するテーマを幅広く取り扱い、現状を把握し、課題の解決に取り組むことを目的としています。

第 1 回目のリポートでは、くらし部会の委員構成と、ワーキング活動をご紹介します。

【委員構成】

役職	所属	氏名
部会長	社会福祉法人明桜会 相談支援事業所オアシス	鳥居 健一
副部会長	特定非営利法人居場所 相談支援事業所居場所	足立 麻子
委員	社会福祉法人ゆほびか 障害者地域生活支援センターほほえみ	野口 忠男
委員	社会福祉法人博由社 障害者支援施設博由園	満吉 雄作
委員	社会福祉法人明桜会 障害者支援施設大地の家	宮崎 泰生
委員	特定非営利法人きぼうの空 障害福祉サービス事業所にじの空	山崎 信吾
委員	特定非営利活動法人こぐまくらぶ	松本 将八
委員	株式会社ユーアイ ファミリーケア友愛	小林 律子
委員	社会福祉法人明石市社会福祉協議会 地域福祉推進課地域福祉係	高岡 有貴子
委員	明石市役所 障害福祉課自立支援係	藤井 秀明
委員	社会福祉法人明石市社会福祉協議会 基幹相談支援センター	後藤 謹武

【部会構成とワーキング活動の位置付け】



ワーキング① ハートふるあかし

設立背景	活動内容
<p>障害者自立支援法施行後、地域での暮らしを支える社会資源は増えてきましたが、依然として精神科病院から退院できない人や社会参加の機会が得られていない人がいます。</p> <p>そこで、このワーキングでは、精神障がいのある人が、安心して暮らしていくための地域づくりについて考えていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 支援者の質の向上を図るための研修を行う。 • 地域住民に対して、精神疾患の正しい知識を普及するための啓発活動を行う。

ワーキング② 相談支援連絡会

設置目的	活動内容
<p>平成 24 年度より、明石市でも計画相談が段階的に進められており、相談支援専門員は、計画作成に追われている状態が続いています。</p> <p>そこで、このワーキングでは、利用者に質の良いサービスを届けるため、相談支援専門員を後方支援する体制を構築し、合理的な仕組みを行政と協働して考えていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 相談支援連絡会を定期的を開催し、相談支援専門員を後方支援する体制を整える。 • 計画相談を推進するための合理的な仕組みを行政と協働して作る。 • 明石市の相談支援体制の在り方を考える。

ワーキング③ 高齢障害者の支援を考える研究会

設置目的	活動内容
<p>障害者も 65 歳になった時点(2 号被保険者で特定疾病対象者の場合は 40 歳)で障害福祉サービスから介護保険サービスへ移行します。この時、介護保険事業者等との連携が不可欠ですが、必ずしも上手く行っているとは言えない状況があります。</p> <p>そこで、このワーキングでは、障害・介護連携を重視した高齢障害者への支援策を考えていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 身体、知的、精神それぞれの障害において、主に介護保険に移行した事例を分析し、課題を抽出する。 • 介護保険事業者等と協力しながら、課題の解決方法を検討する。

ワーキング④ 短期入所の在り方検討会

設置目的	活動内容
<p>短期入所は、ニーズが右肩上がりですが、利用可能施設・定員が限られており、ほぼ定員が埋まっている状態です。特に家族の急死や急病、虐待等の緊急で一時保護が必要な場合、現状は受け入れ側の施設の配慮でしか応えられない現状があります。</p> <p>そこで、このワーキングでは、緊急で短期入所を必要とする方が、遅滞なく利用できる方法を考えていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 短期入所に関する実態を調査する。 • 緊急一時保護を必要とする事例を整理する。 • 空床を確保する方法を検討する。 • 障害特性に応じた短期入所の在り方を検討する。

平成 26 年度 明石市地域自立支援協議会くらし部会

ワーキング① ハートふるあかし リポート Vol. 1 平成 26 年 9 月

発行元：明石市地域自立支援協議会 くらし部会事務局
(基幹相談支援センター) TEL：078-918-5252

【意見投稿用アドレス】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています。



障害者自立支援法施行後、地域での暮らしを支える社会資源は増えましたが、依然として精神科病院から退院できない人や社会参加の機会が得られていない人がいます。

ハートふるあかしは、精神障がいのある人が、安心して暮らしていくための地域づくりについて考えていきます。当面の間は、地域住民に対して、精神疾患の正しい知識を普及するための啓発活動を行うこと、支援者の質の向上を図るための研修を行うことの 2 点を目的に活動しています。

上半期は、精神科病院、通所施設、相談支援事業所など精神障がいのある人に関わりがある人たちに集まってもらい、支援を通じて感じている課題を話し合いました。

精神科病院や精神疾患のことを誤解している人が多いように感じる。正確な知識を得てもらう機会が必要ではないか。

病院と地域では考え方や意見の相違が見られる。地域の社会資源が病院にとって安心材料にならないのは、お互いを良く知らないからではないだろうか。

就労支援のメニューは増えてきているので、働きたいという声にどう応えていくのか考える必要がある。

近親者がいない、いても疎遠等の理由で保証人や連絡先を確保できずに家が借りれない人がいた。公的な支援制度が必要かも。



精神科病院と相談支援事業所の連携が重視されている。計画相談支援や地域相談支援のもっと良い活用方法を考えてはどうか。

精神障がいのある人が利用できるグループホームの数が不足しているように感じる。

地域の理解を得て、繋がりを作ることが大事だと思う。当事者や支援者が学校等で講演を行ったりする機会を作れないか。

平成 26 年度 明石市地域自立支援協議会くらし部会

ワーキング② 相談支援連絡会 レポート Vol. 1 平成 26 年 9 月

発行元：明石市地域自立支援協議会 くらし部会事務局
(基幹相談支援センター) TEL：078-918-5252

【意見投稿用アドレス】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています。



平成 24 年度より、明石市でも計画相談が段階的に進められており、相談支援専門員は、計画作成に追われている状態が続いています。

相談支援連絡会は、利用者に質の良いサービスを届けるため、相談支援専門員を後方支援する体制を構築すること、計画相談を推進するため、合理的な仕組みを行政と協働して考えることの 2 点を目的に活動しています。

企画運営は、障害福祉課、基幹相談支援センター、博由園相談支援事業所、相談支援事業所オアシス、相談支援事業所居場所が協力して行っています。



日時：平成 26 年 6 月 28 日(水)
場所：明石市役所 103B 会議室

第 1 回の相談支援連絡会は、相談支援専門員が置かれている現状を共有するために、3 つのグループに分かれて話し合いを行いました。

「社会資源やつなぎ先が分からない」「障害福祉サービスの知識が不足している」「アセスメントの方法や計画案作成のポイントを知りたい」「1 人職場で相談する相手がない」「忙しくて依頼を断らざるを得ないのが心苦しい」などの意見が出され、相談支援専門員の困りごとを参加者で共有することができました。

第 2 回の相談支援連絡会は、障害福祉課の小川さんより、障害福祉サービス、児童通所サービス、地域生活支援事業、計画相談に係る留意事項などについて説明頂きました。

資料をたくさん準備して頂き、内容も実務に即したものでしたので、参加者からは「勉強になった」「明日からすぐに役に立つ」との感想が多く聞かれました。



日時：平成 26 年 8 月 11 日(月)
場所：明石市役所 103C 会議室